

＜辰ノ口ゼミナール＞のご案内（令和7年度）



写真：福島県いわき市常磐湯本町辰ノ口1番地

湯本砦ズリ山をバックに夕日に映える常磐炭礦(株)磐城礦業所。地上部分も大規模ですが地下には延長すると横浜まで届く斜坑、水平坑等が縦横に走り、入気・排気の風が吹く中、電車が行き交い、大型切羽、ベルトコンベヤー、ポンプ座等大規模施設が24時間稼働、辰ノ口は正に常磐炭礦(株)の1丁目1番地でした。（写真は昭和30年代）
会員は敬称略

◎基本的に全部オンライン講座

※第35回、第37回～第39回、第41回は午前座学、午後は現地調査となります。午後の部にも参加する方は各自で昼食をご用意ください。よろしくお願いいたします。

網かけは現地巡検

- 第35回 4月12日（土）10時～16時 済⇒参加者午前9名
10時～12時 座学「常磐地区の炭鉱遺産について」 会員 熊澤幹夫 増田洋輔
13時～17時 現地巡検 済⇒参加者11名 車4台で乗合せ
- 第36回 5月10日（土）13時～15時 講師 早稲田大学大学院 鈴木崇広氏 済⇒14名
「石炭産業における労働者の反復移動と定着—昭和20年代の常磐炭田＜季節夫＞の縦断分析」
※講師が昨年6月8日（土）に行った「日本の石炭産業における移動労働者—常磐・宇部・筑豊の炭鉱への出稼ぎ—」の続編とも捉えられます。
尚、別件もあり講師と嶋崎先生は前日午前に来山、第一回の打合せを致し研究会も協力する事になりました。⇒6月21日（土）に第二回目の打合せを致しました。
- 第37回 6月7日（土）10時～16時 講師 以下の通り 済⇒参加者午前8名
10時～12時 座学「好間地区の炭鉱遺産について」 会員 大坊真輝
「ほるる及び平地区の産業遺産について」 会員 野木和夫
13時～16時 現地巡検（ほるるは中止、好間のみ）済⇒6名 車2台で乗合せ
- 第38回 6月14日（土）10時～16時 講師 会員 笠原方明 済⇒参加者午前10名
10時～12時 座学「広野・双葉・小川・赤井地区の産業遺産について」
13時～16時 現地巡検 車2台で乗合せ 済⇒参加者8名 車2台で乗合せ
- 番外編 6月28日（土）13時～15時 講師 会員 佐藤哲哉
映画「オモニと少年」プレ上映会。佐藤哲哉会員が入手した16mmフィルム「オモニと少年」7月12日の本番上映に備えてのテスト・調整の為、実施致しました。参加者は6名。

■第39回 7月12日(土) 10時～16時 講師 会員 馬目太 → 3月7日(土)に順延。

10時～11時 座学「内郷地区の炭鉱遺産について」

11時～12時 映画「オモニと少年」上映会(担当 会員 佐藤哲哉)

13時～16時 現地巡検 自家用車で乗合せ

■第39回 8月9日(土) 13時～15時 講師 会員 野木和夫 済⇒6名

戦後80年「常磐炭田にあった青い目の捕虜収容所」 戦時中、常磐鹿島と古河好間の二か所にあった収容所を解説。どんな状況だったか・・・について龍田会員の資料も織り込んで解説しました。

■第40回 9月13日(土) 10時～16時 講師 会員 菊地啓正 済⇒14名

10時30分 車乗り合わせで湯本事務所出発 高萩駅前「うらじ」で昼食

13時～14時 菊地寛実記念高萩炭礦資料館見学

14時～15時 座学「北茨城・高萩地区の産業遺産について」

帰途参加者で付近の炭鉱遺産を巡検する。

■第41回 10月11日(土) 13時～16時 講師 講師 会員 小宅幸一 済⇒15名

13時～14時 座学「石城郡南部地域における炭鉱盛衰」

14時～17時 現地巡検 済⇒8名 生憎の雨の中、2台の会員車で勿来・田人地区を
巡り意外と残る炭鉱遺産についての知見を得た巡検でした。

■第42回 11月 8日(土) 10時00分～16時00分 特別拡大講座 済⇒15名

テーマ「炭鉱を知らない世代への常磐炭田の伝承」

10時00分～11時00分「地元小中学校でのヘリテージ・ツーリズム活動」

講師 会員 菅野昭夫

(学校で実際やっている活動や遺産保全での地域協力等を発表した。)

11時00分～12時00分「いわき市石炭・化石館の炭鉱伝承活動」

(専門家ならでの歴史解説と絵葉書解説と化石館の活動をお話いただいた。)

講師 いわき市石炭・化石館 渡辺文久(研究会会員)

昼食・休憩(60分) 時間延長分調整タイム含む

13時00分～14時「デジタルによる継承の可能性―関心を媒介とする継承の形―」

講師 東京大学大学院 牛島百合子氏

(デジタル技術で子供が炭鉱を自分の事として関心を持たせる手法を解説した。)

14時00分～15時00分 第一部「子どもと炭鉱」 講師 会員 佐藤哲哉

(実際教壇に立っていた講師にたっぷりとお話いただきました。)

途中で10分休憩

15時10分～16時00分 第二部「炭鉱と絵本」 講師 会員 佐藤哲哉

(炭鉱が絵本にどう描かれているのか、講師が収集した豊富な絵本を拝見いたしました。)

一度「ミニ企画展的」か「全炭博研での展示」的なものを検討してみたい。)

※テーマである「炭鉱の伝承」についていろいろ考えるきっかけになれば有難い…………。

■第43回 11月22日（土）13時～15時 講師 会員 鈴木翔太郎 済⇒10名

「常磐炭田における科学と社会」 鈴木氏の研究テーマ（科学と社会の話）について本格的な学術調査のリアルをじっくり聞かせていただき「科学と社会」の意味が理解できた。再度講座をお願いした次第。昭和47年に発行された水産試験場研究報告「選炭排水の改善処理に伴う放流河川（藤原川）の汚濁負荷量の変動について」の紹介もあった。

■第44回 12月13日（土）13時～16時講師 以下の通り（敬称略） ⇒19名参加

※全炭博研クラシック フォーラム（令和8年1月25日実施予定）のリハーサルも兼ねて、「炭鉱を知らない年代にどう炭鉱を伝えるか」を主眼とした勉強会を実施予定。

*小宅幸一 「石炭・炭鉱の時代と常磐炭田」に関する基調講演 13時～14時

*渡辺秀峰 みろく沢炭鉱資料館 14時～15時

*菊地啓正 菊池寛実記念高萩炭礦資料館 15時～16時（鹿田、柴田氏同行）

♥ 1月10日（土）休止 「全炭博研in常磐」開催月で休止。

■第45回 2月14日（土）13時～18時 「全炭博研クラシックin常磐」特集編

（※オンラインで石川会長・田川の福本氏、早稲田大学嶋崎先生の参加を要請）

13時～14時00分 反省点と報告 実行委員会 若松貴司 渡辺文久

14時～16時00分 映像と細部報告 会員 馬目太一 増田洋輔

16時00分～18時頃まで 事務所にて恒例の会費制による慰労会・懇親会

■第46回 3月14日（土）13時～15時 講師 会員 馬目太一 菅野昭夫

10時～12時 座学「内郷地区の炭鉱遺産について」

13時～15時 現地巡検 自家用車で乗合せ

■第47回 3月14日（土）13時～15時 講師 会員 高橋和幸

テーマ「戸部炭硯(株)炭業所長のライフ・ストーリー」

講師が昨年購入した常磐湯長谷町の物件は何と戸部炭硯(株)炭業所長宅でした。又、残された荷物には貴重な日記、手記、会社辞令や経歴書、図面、写真等の貴重な一次資料があり、鋭意調査中であります。戸部炭硯(株)と常磐炭硯(株)との違い、所長のライフスタイル等々興味が惹かれます。

■現地巡検 久しぶりに原点に戻り、

①「片寄平蔵石炭発見～西部硯採炭終了の足跡を辿る」的なものを10月～11月頃に実施したい。

⇒ 来年度に延期

③引き続き次年度6月頃、常磐炭田（茨城地区）も神永喜八～望海地区露天掘りまでのコースを考える。番外編として「令和の石炭＜小名浜港＞」や「浜通りエネルギー変遷の足跡」コース等もいろいろ検討してみたい・・・。